

事務事業評価調書

事業名	出会いサポートセンター事業				部(局)	県民生活部
					所管課	男女青少年課
					担当班	家庭応援班
					連絡先	078-362-4185
開始年度	平成18年度	終了年度	令和4年度	関連計画等		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県青少年本部
事業目的	晩婚化に対する取組として、社会全体で結婚を支援するため、出会いイベント・個別お見合い紹介等を通じて独身男女の出会い・結婚を支援する。					
事業概要	(1) 個別お見合い紹介(出会いサポートセンタースタッフによる個別サポート)センタースタッフが登録会員に対し、プロフィールの書き方からお相手選び、お見合い、交際に至るまでのサポートを実施。 (2) 出会いイベントの実施・紹介一度に複数の相手と話をすることができる出会いイベントを実施。また、協賛団体等が行うイベントについても紹介し、希望に合ったイベントに参加できる機会を提供。					
これまでの改善状況	H28～ 20代会員の会費引き下げ(5,000円→3,000円) H31～ 日曜日を開所 R1～ スマホ婚活システムの導入 R2～ 大手民間婚活事業者3者と連携協定を締結 R4 県政改革方針により、R5年度から地域センター(10カ所)を神戸センター1カ所へ統合した上での事業継続を決定 どこにお住まいの方にも公平にサービスを提供でき、さらにAIの活用等による成婚数の増加を図るため、マッチングシステムをリニューアル R5 重点政策枠事業(本事業)として組み替え事業実施					
業務フロー	(公財)兵庫県青少年本部に委託(一者随契) (1) 出会いサポートセンタースタッフによる個別サポート 会員登録・プロフィール記入⇒プロフィール閲覧・お見合い申込⇒お見合い⇒交際⇒結婚 (2) 出会いイベントの実施・紹介 イベントの企画・実施、募集にかかるメール配信、LINEでの情報発信					
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額
	事業費①		114,489千円	115,785千円	105,276千円	0千円
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	114,489千円	115,785千円	105,276千円	0千円
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(5,031千円)	(3,527千円)	(636千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(109,458千円)	(112,258千円)	(104,640千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		114,489千円	115,785千円	105,276千円	0千円
	執行率((①/②)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	-
	人件費③(a+b+c)		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 0.0人
			8,297千円	8,225千円	8,619千円	0千円
職員給与費 a	7,188千円	7,102千円	7,510千円	0千円		
賞与引当金繰入額 b	580千円	572千円	580千円	0千円		
退職手当引当金繰入額 c	529千円	551千円	529千円	0千円		
総コスト(①+③)		122,786千円	124,010千円	113,895千円	0千円	

事務事業評価調査

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①） ひょうご出会い・結婚支援事業による成婚数（組）	目標	200	200	200	—	—
実績（見込）			127	93	(200)	—		
(単位当たりコスト)			(967千円)	(1,333千円)	(569千円)	—		
成果指標（アウトカム指標②） お見合い実施回数		目標	—	—	3,312	—	—	
		実績（見込）	2,180	3,312	(3,312)	—		
		(単位当たりコスト)	(56千円)	(37千円)	(34千円)	—		
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
指標		活動指標（アウトプット指標①） 個別お見合い会員（はばタン会員）数	目標	5,000	7,000	3,500	—	—
			実績（見込）	3,562	3,306	(3,500)	—	
			(単位当たりコスト)	(34千円)	(38千円)	(33千円)	—	
	活動指標（アウトプット指標②） イベント会員（あいサポ会員）数	目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	4,711	4,335	(4,335)	—		
		(単位当たりコスト)	(26千円)	(29千円)	(26千円)	—		
	活動指標（アウトプット指標③） ひょうご出会い・結婚支援事業出会いイベント参加者数	目標	7,000	7,000	2,000	—	—	
		実績（見込）	1,943	2,099	(2,000)	—		
		(単位当たりコスト)	(63千円)	(59千円)	(57千円)	—		
	目標	終期設定	有（令和4年度）					無
		改善基準						
	自己評価	評価の視点	評価					目標に対する達成状況（総合的評価）
<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民ニーズを的確に踏まえた事業か 民間での事業実施は見込めない事業か 指標・目標設定は適切か 活動実績は十分か 想定された成果を達成しているか など <p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務改革に取り組んでいるか コスト削減の工夫を行っているか ICTや民間活力は活用しているか 受益者負担は適正か 財源確保の工夫を行っているか など 		<ul style="list-style-type: none"> 民間の結婚相談所は高額で手が届かず、安価な婚活アプリはなりすまし等の不安があるため、利用をためらう県民にとって有用。 公的機関が運営をしていることへの安心感は大きく、利用者の入会理由の大きな要因となっている。 令和2年7月からスマホでの閲覧を開始し、閲覧数は前年同期比約49倍に増加。 令和3年1月からセンター外のお見合いを開始し、令和3年度のお見合い数は、コロナ以前の令和元年度実績と比較しても1.2倍となっている。 協定締結事業者の民間ノウハウを生かした出会いイベントの実施や結婚力アップセミナーの開催、SNSによる広報など成婚に向けた取組を実施。 成婚者一組あたりのコストは、当初予算額ベースでR2実績：1,124千円。全国平均よりも低コストで実施（全国平均約1,289千円/組）。 コロナ禍でも、オンラインの活用や、感染防止の徹底等によりイベントを開催。 R4年度末には地域センターを廃止し、R5年度より運営費を大きく削減。会員には利便性に問題なくサービスを提供できるよう、オンラインお見合いシステム等を充実。 					<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度にスマホ婚活システムを導入し、スマートフォンでの検索・閲覧・お見合い申込みや、登録スポットでのお見合い等に対応しており、閲覧、お見合いが増加している。 但し、登録にはセンターに向く必要のあることから、個別お見合い会員数は減少傾向にある。 コロナ禍で、協賛団体等が行うイベントが減少し、1回あたりの参加者数も感染防止のため少人数で設定していることが多く、イベント参加者数が減少している。 コロナ禍で、交際から結婚までの日数が、コロナ前の平均1年から2年に伸びており、令和3年度の成婚実績が減少している。 	
評価	課題・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	説明	県政改革方針により令和4年度に10地域センターを廃止し、またマッチングシステムをリニューアルしたことで、令和5年度より「ひょうご出会い支援事業」として事業再編。						

事務事業評価調書

事業名	ひょうご五国へカムバック移住・定住総合対策事業 (ひょうご出会いサポート東京センター)				部(局)	県民生活部
					所管課	男女青少年課
					担当班	家庭応援班
					連絡先	078-362-4185
開始年度	平成27年度	終了年度	令和4年度	関連計画等		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県青少年本部
事業目的	晩婚化に対する取組みの推進並びに兵庫県へのUJIターンの増加を図るため、「ひょうご出会いサポート東京センター」を拠点とし、県内と関東近郊在住の独身男女の結婚を支援し関東近郊在住者の兵庫県への移住促進を図る。					
事業概要	(1) 個別お見合い紹介(出会いサポートセンタースタッフによる個別サポート)センタースタッフが登録会員に対し、プロフィールの書き方からお相手選び、お見合い、交際に至るまでのサポートを実施。 (2) 出会いイベントの紹介協賛団体等が行うイベントなどを紹介し、会員の希望に合ったイベントに参加できる機会を提供。					
これまでの改善状況	H28～ 20代会員の会費引き下げ(5,000円→3,000円) H31～ 日曜日を開所 R1～ スマホ婚活システムの導入 R2～ 大手民間婚活事業者3者と連携協定を締結 R4 県政改革方針により、R5年度から地域センター(10カ所)を神戸センター1カ所へ統合した上での事業継続を決定 どこにお住まいの方にも公平にサービスを提供でき、さらにAIの活用等による成婚数の増加を図るため、マッチングシステムをリニューアル					
業務フロー	(公財)兵庫県青少年本部に委託(一者随契) (1) 出会いサポートセンタースタッフによる個別サポート 会員登録・プロフィール記入⇒プロフィール閲覧・お見合い申込⇒お見合い⇒交際⇒結婚 (2) 出会いイベントの紹介					
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額
	事業費①		13,047千円	15,197千円	11,905千円	0千円
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	13,047千円	15,197千円	11,905千円	0千円
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(6,523千円)	(7,598千円)	(5,952千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(6,524千円)	(7,598千円)	(5,953千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		13,057千円	15,197千円	11,905千円	0千円
	執行率((①/②) × 100)		99.9%	100.0%	100.0%	-
	人件費③(a+b+c)		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.0人
			830千円	823千円	862千円	0千円
職員給与費	a	719千円	710千円	751千円	0千円	
賞与引当金繰入額	b	58千円	57千円	58千円	0千円	
退職手当引当金繰入額	c	53千円	55千円	53千円	0千円	
総コスト(①+③)		13,877千円	16,020千円	12,767千円	0千円	

事務事業評価調査

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①） ひょうご出会いサポート東京センターにおける成婚数（組）	目標	8	8	8	—	
実績（見込）			0	0	(2)	—		
(単位当たりコスト)			—	—	(6,383千円)	—		
達成率（見込）			0.0%	0.0%	(25.0%)	—		
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
指標	活動指標（アウトプット指標①） ひょうご出会いサポート東京センターにおける個別お見合い会員（はばタン会員）数	目標	220	220	100	—		
		実績（見込）	75	26	(25)	—		
		(単位当たりコスト)	(185千円)	(616千円)	(511千円)	—		
		達成率（見込）	34.1%	11.8%	(25.0%)	—		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
目標	終期設定	有（令和4年度）					無	
	改善基準							
自己評価	評価の視点		評価			目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		・ 民間の結婚相談所は高額で手が届かず、安価な婚活アプリはなりすまし等の不安があるため、利用をためらう県民にとって有用。 ・ 公的機関が運営をしていることへの安心感は大きく、利用者の入会理由の大きな要因となっている。 ・ 令和2年7月からスマホでの閲覧を開始し、閲覧数は前年同期比約49倍に増加。 ・ 令和3年1月からセンター外のお見合いを開始し、令和3年度のお見合い数は、コロナ以前の令和元年度実績と比較しても1.2倍となっている。			・ 令和2年度にスマホ婚活システムを導入し、スマートフォンでの検索・閲覧・お見合い申込みや、登録スポットでのお見合い等に対応しており、閲覧、お見合いが増加している。 ・ 但し、登録にはセンターに向く必要のあることから、個別お見合い会員数は減少傾向にある。		
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		・ 協定締結事業者の民間ノウハウを生かした出会いイベントの実施や結婚力アップセミナーの開催、SNSによる広報など成婚に向けた取組を実施。 ・ 成婚者一組あたりのコストは、当初予算額ベースでR2実績：1,124千円。全国平均よりも低コストで実施（全国平均約1,289千円/組）。 ・ コロナ禍でも、オンラインの活用や、感染防止の徹底等によりイベントを開催。 ・ R4年度末には地域センターを廃止し、R5年度より運営費を大きく削減。会員には利便性に問題なくサービスを提供できるよう、オンラインお見合いシステム等を充実。			・ コロナ禍で、協賛団体等が行うイベントが減少し、1回あたりの参加者数も感染防止のため少人数で設定していることが多く、イベント参加者数が減少している。 ・ コロナ禍で、交際から結婚までの日数が、コロナ前の平均1年から2年に伸びており、令和3年度の成婚実績が減少している。		
	課題・今後の方向性 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 説明 { 県政改革方針により令和4年度に10地域センターを廃止し、神戸センターに統合することにより廃止。 }							
評価								

事務事業評価調書

事業名	ひょうご出会い支援事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	男女青少年課	
					担当班	家庭応援班	
					連絡先	078-362-4185	
開始年度	令和5年度	終了年度	-		関連計画等		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県青少年本部	
事業目的	少子化の大きな要因の一つである「晩婚化・未婚化の進行」に対する取組として、社会全体で結婚を支援するため、出会いイベント・個別お見合い紹介等を通じて独身男女の出会い・結婚を支援する。						
事業概要	(1) 個別お見合い紹介(出会いサポートセンタースタッフによる個別サポート)センタースタッフが登録会員に対し、プロフィールの書き方からお相手選び、お見合い、交際に至るまでのサポートを実施。 (2) 出会いイベント等の実施・紹介 一度に複数の相手と話をすることができる出会いイベントを実施。また、協賛団体等が行うイベントについても紹介し、希望に合ったイベントに参加できる機会を提供。令和4年度末で地域センターが廃止になることもふまえ、県内各地で出張結婚相談会や結婚力アップセミナー等、成婚へ向けた会員の後押しも実施する。						
これまでの改善状況	H28～ 20代会員の会費引き下げ(5,000円→3,000円) H31～ 日曜日を開所 R1～ スマホ婚活システムの導入 R2～ 大手民間婚活事業者3者と連携協定を締結 R4 県政改革方針により、R5年度から地域センター(10カ所)を神戸センター1カ所へ統合した上での事業継続を決定 どこにお住まいの方にも公平にサービスを提供でき、さらにAIの活用等による成婚数の増加を図るため、マッチングシステムをリニューアル R5 重点政策枠事業(本事業)として組み替え事業実施						
業務フロー	(公財)兵庫県青少年本部に委託(一者随契) (1) 出会いサポートセンタースタッフによる個別サポート 会員登録・プロフィール記入⇒プロフィール閲覧・お見合い申込⇒お見合い⇒交際⇒結婚 (2) 出会いイベントの実施・紹介 イベントの企画・実施、募集にかかるメール配信、LINEでの情報発信						
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
	事業費①		0千円	0千円	0千円	72,595千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	72,595千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(9,723千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(62,872千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円	0千円	0千円	72,595千円	
	執行率((①/②)×100)		-	-	-	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	従事人員	従事人員	従事人員 1.0人	
		0千円	0千円	0千円	8,619千円		
職員給与費	a	0千円	0千円	0千円	7,496千円		
	b	0千円	0千円	0千円	572千円		
	c	0千円	0千円	0千円	551千円		
総コスト(①+③)		0千円	0千円	0千円	81,214千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	—	—	—	200	200
ひょうご出会い・結婚支援事業による成婚数（組）		実績（見込）	—	—	—	(200)	【令和7年度】	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	(406千円)		
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	3,312	5,000	
お見合い実施回数		実績（見込）	—	—	—	(3,312)	【令和7年度】	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	(25千円)		
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
活動指標（アウトプット指標①）	目標	—	—	—	3,500	5,000		
個別お見合い会員（はばタン会員）数	実績（見込）	—	—	—	(3,500)	【令和7年度】		
	(単位当たりコスト)	—	—	—	(23千円)			
	達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)			
活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	4,335	5,000		
イベント会員（あいサポ会員）数	実績（見込）	—	—	—	(4,335)	【令和7年度】		
	(単位当たりコスト)	—	—	—	(19千円)			
	達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)			
活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	2,000	7,000		
ひょうご出会い・結婚支援事業出会いイベント参加者数	実績（見込）	—	—	—	(2,000)	【令和7年度】		
	(単位当たりコスト)	—	—	—	(41千円)			
	達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)			
目標	終期設定	有（ ）					無	
	改善基準							
自己評価	評価の視点	評価					目標に対する達成状況（総合的評価）	
	<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民ニーズを的確に踏まえた事業か 民間での事業実施は見込めない事業か 指標・目標設定は適切か 活動実績は十分か 想定された成果を達成しているか など <p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務改革に取り組んでいるか コスト削減の工夫を行っているか ICTや民間活力は活用しているか 受益者負担は適正か 財源確保の工夫は行っているか など 	<ul style="list-style-type: none"> 民間の結婚相談所は高額で手が届かず、安価な婚活アプリはなりすまし等の不安があるため、利用をためらう県民にとって有用。 公的機関が運営をしていることへの安心感は大きく、利用者の入会理由の大きな要因となっている。 令和2年7月からスマホでの閲覧を開始し、閲覧数は前年同期比約49倍に増加。 令和3年1月からセンター外のお見合いを開始し、令和3年度のお見合い数は、コロナ以前の令和元年度実績と比較しても1.2倍となっている。 協定締結事業者の民間ノウハウを生かした出会いイベントの実施や結婚力アップセミナーの開催、SNSによる広報など成婚に向けた取組を実施。 成婚者一組あたりのコストは、当初予算額ベースでR2実績：1,124千円。全国平均よりも低コストで実施（全国平均約1,289千円/組）。 コロナ禍でも、オンラインの活用や、感染防止の徹底等によりイベントを開催。 R4年度末には地域センターを廃止し、R5年度より運営費を大きく削減。会員には利便性に問題なくサービスを提供できるよう、オンラインお見合いシステム等を充実。 						
評価	課題・今後の方向性							
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 { 地域センターは令和4年度末で廃止となったが、新システムの導入により会員に公平にサービスを提供するとともに、AIの活用、スタッフのフォローにより成婚数の増加、目標の達成を目指す。さらに、新規お見合い会員の増加、新システムへの会員移行に伴う会員数減少防止のため、広報活動を強化し実施する。 }							

事務事業評価調書

事業名	防犯カメラ設置補助事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	生活安全課				
					担当班	地域安全対策班				
					連絡先	078-362-3173				
開始年度	平成22年度	終了年度	令和5年度	関連計画等	第6期地域安全まちづくり推進計画					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	まちづくり防犯グループ等の地域団体				
事業目的	まちづくり防犯グループ等の地域団体が行う防犯カメラ設置を促進し、地域安全まちづくり活動を防犯設備面から支援することにより、地域の見守り力の向上を図る。									
事業概要	補助対象者：まちづくり防犯グループ等の地域団体（R5年度 市町への間接補助） 補助対象経費：犯罪予防を目的として公道等に常設する、映像の撮影、記録等の機能を有する機器（防犯カメラシステム）及び防犯カメラ設置を明示する標識の購入並びに設置工事に要する経費 補助額：1か所当たり6万円 補助箇所数：500か所									
これまでの改善状況	（1か所当たり補助額） H22～H24年度：18万円、H25～R3年度：8万円、R4年度～：6万円									
業務フロー	R4年度まで 申請（地域団体）→受付・審査（県）→交付（県） R5年度から 申請（地域団体）→受付・審査・申請（市町）→受付・審査（県）→交付（県）									
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額		3年度決算額		4年度当初予算額		5年度当初予算額	
	事業費①		38,720千円		39,120千円		30,000千円		30,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	38,720千円		39,120千円		30,000千円		30,000千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	0千円		0千円		0千円		0千円	
	（財源内訳）	（国庫）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（特定）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（起債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(38,720千円)		(39,120千円)		(30,000千円)		(30,000千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		40,000千円		40,000千円		30,000千円		30,000千円	
	執行率（(①/②)×100）		96.8%		97.8%		100.0%		100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	0.5人
			8,297千円		8,225千円		8,619千円		4,310千円	
職員給与費	a	7,188千円		7,102千円		7,510千円		3,748千円		
賞与引当金繰入額	b	580千円		572千円		580千円		286千円		
退職手当引当金繰入額	c	529千円		551千円		529千円		276千円		
総コスト（①+③）		47,017千円		47,345千円		38,619千円		34,310千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 刑法犯認知件数	目標	—	—	33,017	33,000
実績（見込）			—	—	33,017	33,000	
（単位当たりコスト）			—	—	（1千円）	（1千円）	
達成率（見込）			—	—	（100.0%）	（100.0%）	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 防犯カメラ設置補助箇所数	目標	500	500	500	500	—
		実績（見込）	484	489	（500）	（500）	
		（単位当たりコスト）	（97千円）	（97千円）	（77千円）	（69千円）	
		達成率（見込）	96.8%	97.8%	（100.0%）	（100.0%）	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	○（令和6年度） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	防犯カメラ設置補助箇所数は堅調に推移しており、地域の防犯力向上に一定の役割を果たしている。		市町による防犯カメラ事業の取組を促進するため、県が先導的に取り組んできた事業であるが、H29年度には全市町で随伴補助など何らかの取組が行われ、また、市町の独自補助・直接設置も増加しているなど、一定の目的は達成された。			
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	近年の防犯カメラ設置費用の状況を踏まえ、R4年度に補助額を1か所当たり6万円に減額している。					
	課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他	説明 地域の防犯は、住民により近い市町が地域の実情に応じて主体的に取り組むものとの認識から、R5年度から県の直接補助から市町自主事業に移行する。ただし、市町自主事業への円滑な移行を支援するため、R5年度は移行期間として市町補助を実施し、R6年度以降の取組についてはR5年度に検討。					
評価							

事務事業評価調書

事業名	性被害ケアセンター設置等事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	生活安全課	
					担当班	地域安全対策班	
					連絡先	078-362-3173	
開始年度	平成29年度	終了年度	—	関連計画等	第6期地域安全まちづくり推進計画		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公社)ひょうご被害者支援センター等	
事業目的	<p>性暴力被害者の心身の負担軽減、被害の潜在化を防止するため、専用相談窓口を設け、医療費助成、医療機関等への同行支援、法律相談、心のケア等を一体的に行う性暴力ワンストップ支援センターを設置する。</p> <p>併せて、ワンストップセンター設置を契機に、より性犯罪等犯罪被害者等が抱える課題の理解促進を図るため、犯罪被害者等の心情への配慮や二次被害の防止の普及啓発を支援する。</p>						
事業概要	<p>①性被害ケアセンター「よりそい」の設置 委託先(一部補助)：公益社団法人ひょうご被害者支援センター 事業内容：専用電話相談、医療費助成、医療機関等への同行支援、法律相談・心理相談 等</p> <p>②医師向け専門研修 委託先：特定非営利活動法人性暴力被害者支援センター・ひょうご 事業内容：産婦人科医師等向けの高度専門研修</p>						
これまでの改善状況	R3.10.1に内閣府が開設した夜間休日対応コールセンターとの連携により、相談受付を365日24時間体制とした。						
業務フロー	委託：県とひょうご被害者支援センター又は性暴力被害者支援センター・ひょうごとの委託契約 補助：申請(ひょうご被害者支援センター)→受付・審査(県)→交付(県)						
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
	事業費①		4,111千円	4,518千円	8,615千円	7,806千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	4,075千円	4,341千円	8,177千円	7,368千円	
		補助金・交付金	36千円	177千円	438千円	438千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(1,991千円)	(2,180千円)	(4,151千円)	(3,745千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(2,120千円)	(2,338千円)	(4,464千円)	(4,061千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		9,902千円	7,497千円	8,615千円	7,806千円	
	執行率((①/②)×100)		41.5%	60.3%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	
			8,297千円	8,225千円	8,619千円	8,619千円	
職員給与費	a	7,188千円	7,102千円	7,510千円	7,496千円		
賞与引当金繰入額	b	580千円	572千円	580千円	572千円		
退職手当引当金繰入額	c	529千円	551千円	529千円	551千円		
総コスト(①+③)		12,408千円	12,743千円	17,234千円	16,425千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 刑法犯認知件数	目標	—	—	33,017	33,000
実績（見込）			—	—	33,017	33,000	
（単位当たりコスト）			—	—	（1千円）	（0千円）	
達成率（見込）			—	—	（100.0%）	（100.0%）	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 性被害者等相談支援件数	目標	600	700	800	900	—
		実績（見込）	660	759	（800）	（900）	
		（単位当たりコスト）	（19千円）	（17千円）	（22千円）	（18千円）	
		達成率（見込）	110.0%	108.4%	（100.0%）	（100.0%）	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	性暴力被害者の心身の負担軽減、被害の潜在化の防止に一定の役割を果たしている。		・ 「よりそい」の相談件数は増加傾向にある。 ・ 被害者は10～20代の若い世代や女性が多いため、小、中、高等学校に対する周知等を行っている。			
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	事業内容に応じて、1/2又は1/3国庫補助金を充てている。					
	課題・今後の方向性 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他	説明 被害が潜在化しやすい分野であり、支援を必要としている人に「よりそい」の周知が必要であるため、引き続き広報に努める。					
評価							

事務事業評価調査書

事業名	青少年インターネット利用対策事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	男女青少年課				
					担当班	青少年指導班				
					連絡先	078-362-3142				
開始年度	令和3年度	終了年度	令和4年度	関連計画等						
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県、(公財)兵庫 県青少年本部				
事業目的	ルールづくりやフィルタリングの利用などのインターネット利用対策について、青少年自身が主体的に考える機会としてワークショップを開催するとともに、各家庭での効果的なルールづくりの取組を推進する。さらに、それらの成果を発表する「スマホサミット」の実施により、青少年のインターネット利用について県民への啓発を行い、青少年が安全、安心にインターネットを利用できる環境整備を推進する。									
事業概要	①県が実施するワークショップや各市町が独自に開催するワークショップ等の成果を、スマホサミットを通じて全県に発信し、青少年自身が主体的に対策を考える取組を推進する。 ②「SNSに起因する青少年の性被害防止」「青少年のスマホ等の過度な利用による健康被害の防止」「青少年のネット課金トラブルの防止」をテーマに、青少年にネット広告を配信する。									
これまでの改善状況										
業務フロー	①交付申請(青少年本部)→受付・審査・交付決定(県)→事業実施(青少年本部) →実績報告(青少年本部)→実績確認・確定(県) ②応募(事業者)→受付・審査(県)→契約(県・事業者)									
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額		3年度決算額		4年度当初予算額		5年度当初予算額	
	事業費①		0千円		4,280千円		6,317千円		0千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		2,345千円		0千円	
		補助金・交付金	0千円		2,430千円		2,982千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	0千円		1,850千円		990千円		0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(4,280千円)		(6,317千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円		4,280千円		6,317千円		0千円	
	執行率((①/②)×100)		-		100.0%		100.0%		-	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	0.0人
			0千円		16,450千円		17,238千円		0千円	
職員給与費	a	0千円		14,204千円		15,020千円		0千円		
賞与引当金繰入額	b	0千円		1,144千円		1,160千円		0千円		
退職手当引当金繰入額	c	0千円		1,102千円		1,058千円		0千円		
総コスト(①+③)		0千円		20,730千円		23,555千円		0千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 青少年のフィルタリング利用率	目標	—	50	50	—
実績（見込）			—	52	(50)	—	
（単位当たりコスト）			—	(399 千円)	(471 千円)	—	
達成率（見込）			—	104.0%	(100.0%)	—	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 小中学生の家庭でのルール策定率	目標	—	80	90	—	—
		実績（見込）	—	74	(90)	—	
		（単位当たりコスト）	—	(279 千円)	(262 千円)	—	
		達成率（見込）	—	92.9%	(100.0%)	—	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（令和4年度） ・ 無					
	改善基準						

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
自己評価	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	健康面への悪影響が懸念されることやネット依存傾向の割合、SNSに起因する犯罪事件が増加傾向にある現状を鑑みて、青少年に届く啓発方法として有効である。	家庭でのルール策定は浸透しつつあるが、依存傾向のある青少年の割合は上昇しており、引き続き取り組みを進める必要がある。
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	コンペを実施し、様々な発想の中からより青少年に届くものを作成することで広く啓発することができる。また、紙媒体を学校を通じて配布することで保護者に確実に届けることができる。	

評価	課題・今後の方向性		
	説明	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他	令和4年度に実施した「子どものスマホ適切な利用推進プロジェクト」での検討の結果等を踏まえて、事業廃止。

事務事業評価調書

事業名	青少年のスマホ等の適切な利用推進事業				部(局)	県民生活部		
					所管課	男女青少年課		
					担当班	青少年指導班		
					連絡先	078-362-3142		
開始年度	令和5年度	終了年度		関連計画等				
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					実施主体等		
事業目的	令和4年度に実施した「子どものスマホ適切な利用推進プロジェクト」での検討の結果等を踏まえて、青少年の適切なインターネット利用について県民への啓発を行い、青少年が安全、安心にインターネットを利用できる環境整備を推進する。							
事業概要	①「青少年のスマホ等の過度な利用による健康被害の防止」「青少年のネットトラブル防止」をテーマに、青少年にネット広告を配信する ②1日の生活時間やネットの使い方を家族で話し合うためのワークシートを県内全小学校1年生の保護者へ配布する							
これまでの改善状況								
業務フロー	①応募(事業者)→受付・審査(県)→契約(県・事業者) ②ワークシートの作成・印刷(県)→送付(県)→配布(学校)							
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額		
	事業費①		0千円	0千円	0千円	5,050千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	4,690千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	360千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(2,345千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(2,705千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円	0千円	0千円	5,050千円		
	執行率((①/②)×100)		—	—	—	100.0%		
	人件費③(a+b+c)		従事人員		従事人員		従事人員	0.3人
			0千円	0千円	0千円	2,586千円		
職員給与費	a	0千円	0千円	0千円	2,249千円			
賞与引当金繰入額	b	0千円	0千円	0千円	172千円			
退職手当引当金繰入額	c	0千円	0千円	0千円	165千円			
総コスト(①+③)		0千円	0千円	0千円	7,636千円			

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 青少年のフィルタリング利用率	目標	—	—	—	64%
実績（見込）			—	—	—	64%	【令和9年度】
（単位当たりコスト）			—	—	—	(11,931千円)	/
達成率（見込）			—	—	—	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	/
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	/
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 小中学生の家庭でのルール策定率	目標	—	—	—	92%	100%
		実績（見込）	—	—	—	92%	【令和9年度】
		（単位当たりコスト）	—	—	—	(8,300千円)	/
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	/
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	/
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無（○）					
	改善基準	達成率が80%未満となった場合に、事業の実施手法を見直す					
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	健康面への悪影響が懸念されることやネット依存傾向の割合、SNSに起因する犯罪事件が増加傾向にある現状を鑑みて、青少年に届く啓発方法として有効である。		家庭でのルール策定は浸透しつつあるが、依存傾向のある青少年の割合は上昇しており、引き続き取り組みを進める必要がある。			
課題・今後の方向性	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	コンペを実施し、様々な発想の中からより青少年に届くものを作成することで広く啓発することができる。また、紙媒体を学校を通じて配布することで保護者に確実に届けることができる。					
	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 説明 青少年とその保護者に適切な情報を確実に発信するために、有効な手段を検討しながら、事業を展開する。						

事務事業評価調査

事業名	芸術文化に親しむひょうご推進事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	事業調整班	
					連絡先	078-362-3171	
開始年度	平成23年度	終了年度	未定	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					実施主体等	
事業目的	地域に偏ることなく、県内全体において、身近に芸術文化に親しむことのできる環境の充実を実現させることで人々の暮らしに潤いをもたらすとともに、芸術文化の振興を目指す。						
事業概要	◆芸術文化活動機会促進事業 県内に活動拠点を有し、一定の芸術文化活動の経歴を有する個人・グループに対し、舞台芸術の公演、美術作品の展示等の事業、メディア芸術の発表及び文芸作品の出版事業にかかる経費のうち会場費、印刷費等を補助する。						
これまでの改善状況	H25：会場利用料の実態から、より少額な補助金額区分を新設した。 H26：補助金額が補助対象経費の1/2を超えていたため、補助金額の区分を見直した。過去の補助対象経費平均から、最高額の補助に必要な補助対象経費を減額した。 R3：補助金額が補助対象経費の概ね1/2～1/3になるよう、補助金額の区分を見直した。 R4：オンラインによる申請を導入した。						
業務フロー	申請（団体）→審査・交付決定（県）→事業実施・実績報告（団体）→審査・補助金額確定（県）						
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
	事業費①		1,510千円	14,470千円	8,040千円	8,040千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	1,510千円	14,470千円	8,040千円	8,040千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	（財源内訳）	（国庫）	(1,510千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（特定）	(0千円)	(17,350千円)	(8,040千円)	(8,040千円)	
		（起債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		7,260千円	17,350千円	8,040千円	8,040千円	
	執行率（(①/②)×100）		20.8%	83.4%	100.0%	100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	
			2,489千円	2,468千円	2,586千円	2,586千円	
職員給与費	a	2,156千円	2,131千円	2,253千円	2,249千円		
賞与引当金繰入額	b	174千円	172千円	174千円	172千円		
退職手当引当金繰入額	c	159千円	165千円	159千円	165千円		
総コスト（①+③）		3,999千円	16,938千円	10,626千円	10,626千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」	目標	40	40	40	40
実績（見込）			37.1	37.1	39.0	40.0	【令和7年度】
（単位当たりコスト）			（108千円）	（457千円）	（272千円）	（266千円）	
達成率（見込）			92.8%	92.8%	（97.5%）	（100.0%）	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 鑑賞者数	目標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
		実績（見込）	8,739	27,282	（28,517）	（40,000）	【令和6年度】
		（単位当たりコスト）	（0千円）	（1千円）	（0千円）	（0千円）	
		達成率（見込）	21.8%	68.2%	（71.3%）	（100.0%）	
	活動指標（アウトプット指標②） 補助件数	目標	79	150	79	79	79
		実績（見込）	21	88	（71）	（79）	【令和6年度】
		（単位当たりコスト）	（190千円）	（192千円）	（150千円）	（135千円）	
		達成率（見込）	26.6%	58.7%	（89.9%）	（100.0%）	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無（○）					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	アマチュアの芸術文化活動を支援する事業として個人、団体からの需要も高く、非常に多くの申請が寄せられている。		県内に活動拠点を有する多くの団体等がその成果を披露する機会を促進し、県内の芸術文化振興に寄与している。			
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	R4年度からはデジタル改革課主導によりkintoneを活用したオンライン申請を導入した。					
	課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他	説明 申請者からの意見を踏まえ、オンラインシステムを活用した申請の簡素化をさらに進めることで、より多くの県民に事業の活用を促していく。					
評価							

事務事業評価調書

事業名	県民芸術劇場の開催				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	事業調整班	
					連絡先	078-362-3171	
開始年度	平成3年度	終了年度	未定	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会	
事業目的	県内における芸術文化活動の向上発展と、心の豊かさを育むため、小学生、高校生、一般を対象に、音楽、演劇などの優れた舞台芸術を身近に鑑賞できる機会や参加・体験できる機会を提供するとともに、県内の舞台芸術団体等の育成、公立文化施設の活性化を図る。						
事業概要	公立文化施設、学校（小学校、高校）を対象に、当事業に登録された芸術文化団体の演目から選択し公演を開催する際の経費の一部を補助する。						
これまでの改善状況	H23：学校公演のうち中学校公演を当面の間停止（中学生を対象とする他事業があるため） R4：事業改善レビュー対象事業 R5：登録団体の活性化に向けた改善（新規団体募集、優秀団体公演の実施等）						
業務フロー	(公財)芸術文化協会より、地元主催者(学校・施設等)へ実施希望を調査、希望に応じて、公演団体への依頼、出演料の支払を行う。				<pre> graph TD A[県] -- ④補助 --> B[協会] B -- ②公演依頼 --> C[公演団体] B -- ③出演料支払 --> D[主催者] D -- ①希望調査 --> B </pre>		
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
	事業費①		40,410千円	26,350千円	17,896千円	35,442千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	40,410千円	26,350千円	17,896千円	35,442千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(40,410千円)	(26,350千円)	(17,896千円)	(35,287千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		91,215千円	28,770千円	17,896千円	35,287千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		44.3%	91.6%	100.0%	100.4%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	
			830千円	823千円	862千円	862千円	
職員給与費	a	719千円	710千円	751千円	750千円		
賞与引当金繰入額	b	58千円	57千円	58千円	57千円		
退職手当引当金繰入額	c	53千円	55千円	53千円	55千円		
総コスト (①+③)		41,240千円	27,173千円	18,758千円	36,304千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	40	40	40	40.0	50.0
「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」		実績（見込）	37.1	37.1	(39)	(40)	【令和7年度】	
		(単位当たりコスト)	(1,112千円)	(732千円)	(481千円)	(908千円)		
		達成率（見込）	92.8%	92.8%	(97.5%)	(100.0%)		
		目標	—	—	—	—		—
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	90	90	
学校公演の観客満足度（%）		実績（見込）	—	—	—	(90)	【令和7年度】	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	(403千円)		
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)		
		目標	—	—	—	—		—
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—		
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—			
	達成率（見込）	—	—	—	—			
	目標	130	93	60	102	—		
活動指標（アウトプット指標①）	目標	130	93	60	102	【令和7年度】		
県民芸術劇場の公演数	実績（見込）	46	68	(57)	(102)			
	(単位当たりコスト)	(897千円)	(400千円)	(329千円)	(356千円)			
	達成率（見込）	35.4%	73.1%	(95.0%)	(100.0%)			
	目標	120,000	120,000	120,000	120,000	—		
活動指標（アウトプット指標②）	目標	120,000	120,000	120,000	120,000	【令和7年度】		
県民芸術劇場の鑑賞者数（21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標）※県民文化普及事業との合算	実績（見込）	30,777	47,244	(120,000)	(120,000)			
	(単位当たりコスト)	(1千円)	(1千円)	(0千円)	(0千円)			
	達成率（見込）	25.6%	39.4%	(100.0%)	(100.0%)			
	目標	—	—	—	510	510		
活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	510	【令和7年度】		
1公演あたり平均観客数（人/公演）	実績（見込）	—	—	—	(510)			
	(単位当たりコスト)	—	—	—	(71千円)			
	達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)			
	終期設定	有（ ） ・ 無（○）						
改善基準								
自	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）				
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	都市部に偏りがちな舞台芸術公演について、県内各地（R4：16市6町）で開催しており、県民が身近で優れた舞台芸術の鑑賞と参加・体験する機会を享受できている。			R2年度以降は、新型コロナウイルスの影響で公演の中止が相次ぎ、予算執行率や評価指標の達成率が大きく落ち込んでいるものの、コロナ禍前は、予算を上回る応募のあったニーズの高い事業であり、R4からは応募数も再び増加に転じている。			
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	（公財）兵庫県芸術文化協会が中心となり事業を実施することで、同協会が有する文化施設・文化団体とのネットワークを活かした効率的な事業実施ができている。 また、一般公演は有料（入場料の上限あり）としており、受益者負担も適正に行っている。						
評価	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
	説明	今後は、新たな公演団体の参画や公演内容の見直しを検討し、より魅力ある公演の実施を通じて、コロナ禍で減少した芸術文化団体の活動や県民の芸術鑑賞機会の回復に努めていく。						
評価								

事務事業評価調書

事業名	芸術文化センター創造・公演事業				部(局)	県民生活部
					所管課	芸術文化課
					担当班	企画運営班
					連絡先	078-362-3146
開始年度	平成17年度	終了年度	—	関連計画等	芸術文化振興ビジョン	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会
事業目的	自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」をめざす芸術文化センターの根幹として、自主制作事業を始めとする公演事業を実施し、幅広い県民に提供する。					
事業概要	(公財)兵庫県芸術文化協会への補助					
これまでの改善状況	—					
業務フロー	申請(協会) → 受付・審査(県) → 交付(県)					

区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	365,000 千円	380,000 千円	430,000 千円	378,000 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		補助金・交付金	365,000 千円	380,000 千円	430,000 千円	378,000 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(365,000千円)	(380,000千円)	(430,000千円)	(378,000千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		460,000 千円	380,000 千円	430,000 千円	378,000 千円
	執行率 ((①/②) × 100)		79.3%	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	12.0人	12.0人	12.0人	12.0人
			99,564 千円	98,700 千円	103,428 千円	103,428 千円
職員給与費 a		86,256 千円	85,224 千円	90,120 千円	89,952 千円	
賞与引当金繰入額 b		6,960 千円	6,864 千円	6,960 千円	6,864 千円	
退職手当引当金繰入額 c		6,348 千円	6,612 千円	6,348 千円	6,612 千円	
総コスト (①+③)		464,564 千円	478,700 千円	533,428 千円	481,428 千円	

事務事業評価調査

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	300,000	300,000	300,000	300,000
芸術文化センター自主公演入館者数		実績（見込）	90,664	195,033	(272,000)	(300,000)	
		(単位当たりコスト)	(5千円)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	
		達成率（見込）	30.2%	65.0%	(90.7%)	(100.0%)	
		目標	40	40	40	40	50
成果指標（アウトカム指標②） 「兵庫の伊たかご指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」		実績（見込）	37.1	37.1	39.0	40.0	
		(単位当たりコスト)	(12,522千円)	(12,903千円)	(13,678千円)	(12,036千円)	
		達成率（見込）	92.8%	92.8%	(97.5%)	(100.0%)	
		目標	—	—	—	—	—
成果指標（アウトカム指標③）		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	—
		達成率（見込）	—	—	—	—	—
	目標	—	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①）	目標	200	200	200	200	200
	年間ホール稼働日数	実績（見込）	228	330	(342)	(330)	
		(単位当たりコスト)	(2,038千円)	(1,451千円)	(1,560千円)	(1,459千円)	
		達成率（見込）	114.0%	165.0%	(171.0%)	(165.0%)	
		目標	—	—	—	—	—
	活動指標（アウトプット指標②）	実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	—
		達成率（見込）	—	—	—	—	—
		目標	—	—	—	—	—
	活動指標（アウトプット指標③）	実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	—
		達成率（見込）	—	—	—	—	—
目標		—	—	—	—	—	
終期設定	有（ ） ・ ○無						
改善基準							

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
	自己評価	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	・ 利用者アンケート（R2・3年度は感染防止のため未実施）を踏まえて魅力ある公演づくりに取り組んでいる。 ・ R2・3年度については、新型コロナウイルス感染症により、事業の中止・延期を余儀なくされたが、予防対策を講じて公演を実施したほかやオンライン配信を行うなど県民のニーズに応じて事業を実施した。 ・ コロナ禍においても自主事業の実施や感染症予防対策により施設の稼働率は高い。 ・ 本格的な舞台芸術専門劇場としての評価が観客及び国内外の芸術家にも定着しており、文化芸術振興の拠点となっている。 ・ 幅広い県民に公演を提供するという目的に対し、指標・目標設定は適切である。
○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		・ 芸術文化協会として超勤の縮減に取り組んでいる。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響のため事業中止が相次いだことにより、R2年度は総コストが低くなっているが、公演入場者数や稼働日数が少ないため各指標の単位当たりコストは大きくなった。 ・ R4年度は、R2年度に中止となった15周年事業の大型オペラ公演を行ったため、単位当たりコストは大きくなっている。 ・ チケット料金については事業目的や内容、券売率等の収支見込みを踏まえて適切に設定されている。 ・ ネーミングライツ収入をセンター事業基金積立の財源としている。	

課題・今後の方向性

- 改善 他事業と統合 その他

説明
 ・ 引き続き、感染症対策に留意しながら、多彩な舞台芸術を創造・発信し、幅広いニーズに応える上演を行うとともに、舞台芸術の普及や県民創造活動の支援を行っていく。
 ・ 特に、若い観客を増やしていくために、ターゲット層のニーズに応じた魅力ある公演の実施やSNSの活用等を図っていく。

評価

事務事業評価調書

事業名	兵庫陶芸美術館企画・展覧会の実施				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	企画運営班	
					連絡先	078-362-3146	
開始年度	平成17年度	終了年度	—		関連計画等		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	展覧会実行委員会	
事業目的	陶芸をテーマとした展覧会を開催し、作品鑑賞を通して県民の豊かな感性を育むと共に、古くから盛んであった兵庫県のやきものの伝統と文化、そして貴重な技術を次世代に伝えることを目的とする。						
事業概要	令和4年度展覧会 「オールドノリタケ×若林コレクション」 「やきものを愉しむ二人のまなざし」 「ルネ・ラリック アール・デコのガラス モダン・エレガンスの美」 「教えて！兵庫陶芸美術館」 「丹波の茶道具」						
これまでの改善状況	陶芸（特に古陶磁）は根強いファンがいる一方、広がりには欠けるほか、年齢層にも偏りが見られるため、陶芸の枠を越えた企画（フィンランド・デザイン展、ガラス工芸など）や幅広い展覧会を開催。						
業務フロー	企画・立案（県）→実行委員会に委託・交付（県）→実績報告（事業者）→実績確認・精算（県）						
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
	事業費①		85,000千円	85,000千円	85,000千円	85,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	85,000千円	85,000千円	85,000千円	85,000千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	（財源内訳）	（国庫）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（特定）	(50,516千円)	(53,210千円)	(60,000千円)	(60,000千円)	
		（起債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	(34,484千円)	(31,790千円)	(25,000千円)	(25,000千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		85,000千円	85,000千円	85,000千円	85,000千円	
	執行率（(①/②)×100）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員 8.6人	従事人員 8.6人	従事人員 8.6人	従事人員 8.6人	
			71,354千円	70,735千円	74,123千円	74,123千円	
職員給与費	a	61,817千円	61,077千円	64,586千円	64,466千円		
賞与引当金繰入額	b	4,988千円	4,919千円	4,988千円	4,919千円		
退職手当引当金繰入額	c	4,549千円	4,739千円	4,549千円	4,739千円		
総コスト（①+③）		156,354千円	155,735千円	159,123千円	159,123千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 施設内入場者数	目標	100,000	100,000	100,000	100,000
実績（見込）			51,058	113,799	(89,162)	(100,000)	
（単位当たりコスト）			(3千円)	(1千円)	(2千円)	(2千円)	
達成率（見込）			51.1%	113.8%	(89.2%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 出前事業、展覧会鑑賞学習等の実施校数	目標	60	60	60	60	—
		実績（見込）	25	35	(40)	—	
		（単位当たりコスト）	(6,254千円)	(4,450千円)	-(3,978千円)	—	
		達成率（見込）	41.7%	58.3%	-(66.7%)	—	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価					目標に対する達成状況（総合的評価）
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、秋の特別展の人氣が高く、入館者数が平年並みにまで回復した。				・ 丹波焼きをはじめとする陶磁器産地を有する県として、陶芸文化の振興・普及を図り、陶芸作品を身近に鑑賞する機会を提供できている。	
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	文化庁補助金など、外部資金を積極的に獲得している。					
	課題・今後の方向性						
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
	説明	魅力的な特別展の企画や効果的な広報、イベント内容の充実により入館者の確保を図る。					
評価							

事務事業評価調査

事業名	横尾忠則現代美術館企画・展覧会の実施				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	企画運営班	
					連絡先	078-362-3146	
開始年度	平成24年度	終了年度	未定	関連計画等			
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会	
事業目的	横尾忠則氏の絵画を中心に、幅広く現代の表現に特化した展覧会を開催することを通して、世界的アーティストとの出会いを体験できる場を創出する。						
事業概要	令和4年度は以下の日程で展覧会を開催。 「開館10周年記念 寒山拾得と横尾忠則展」令和4年4月9日(土)～7月18日(月) 「開館10周年記念 横尾さんのパレット」令和4年8月6日(土)～11月27日(日) 「開館10周年記念 横尾忠則展 満腹腹腹満腹」令和4年12月17日(土)～5月7日(日)						
これまでの改善状況	横尾氏の作品を主とした展覧会が続くため、来館者の層が固定化してしまう面もあり入館者数は目標に達していないが、展示・演出に工夫を凝らし魅力ある展覧会の企画に努めている。SNS発信や動画作成、感染症対策を講じたイベント開催など、コロナ禍で落ち込んだ入館者数の回復に向けた積極的な取組を行い効果をあげている。						
業務フロー	計画・申請(事業者)→受付・交付(県)→実施・実績報告(事業者)→交付額確定(県)						
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
	事業費①		24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(5,000千円)	(5,000千円)	(5,000千円)	(5,000千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(19,000千円)	(19,000千円)	(19,000千円)	(19,000千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円	
	執行率((①/②)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 6.1人	従事人員 6.1人	従事人員 6.1人	従事人員 6.1人	
			50,612千円	50,173千円	52,576千円	52,576千円	
職員給与費	a	43,847千円	43,322千円	45,811千円	45,726千円		
賞与引当金繰入額	b	3,538千円	3,489千円	3,538千円	3,489千円		
退職手当引当金繰入額	c	3,227千円	3,361千円	3,227千円	3,361千円		
総コスト(①+③)		74,612千円	74,173千円	76,576千円	76,576千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	70,000	70,000	70,000	70,000
横尾忠則現代美術館入館者数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI））		実績（見込）	29,766	44,385	(55,070)	(70,000)	
		（単位当たりコスト）	(3千円)	(2千円)	(1千円)	(1千円)	
		達成率（見込）	42.5%	63.4%	(78.7%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	1,500	1,500	1,500	1,500	—
展覧会関連事業参加者数		実績（見込）	437	234	(491)	(1,500)	
		（単位当たりコスト）	(171千円)	(317千円)	(156千円)	(51千円)	
		達成率（見込）	29.1%	15.6%	(32.7%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①）	目標	3	3	3	3	3
	展覧会実施回数	実績（見込）	3	3	(3)	(3)	
		（単位当たりコスト）	(24,871千円)	(24,724千円)	(25,525千円)	(25,525千円)	
		達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3年度は感染症対策のため、4、5月に休館を余儀なくされたが、歴代2位の入場者数を記録した「恐怖の館」展（R3.9.18～R4.2.27）により、入館者数4.4万人を記録し、R2年度から大きく回復した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横尾忠則氏から寄贈・寄託を受けた貴重な美術品や資料を適切に保存・展示し、県民に優れた作品の鑑賞機会を提供する必要がある。作品の展示により現代美術の鑑賞者・愛好家のすそ野の拡大に寄与している。 ・ 展示・演出に工夫を凝らし魅力ある展覧会の企画に努めている。 ・ 民間の助成制度を活用し、外部資金の獲得を積極的に行っている。 				
<p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間の助成制度を活用し、外部資金の獲得を積極的に行っている。 						
評価	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他					
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き魅力ある展覧会の企画に努め、コロナ禍前以上の入館者数を旨す。 					
評価							

事務事業評価調書

事業名	子ども伝統文化わくわく体験教室				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	事業調整班	
					連絡先	078-362-3171	
開始年度	平成27年度	終了年度	未定	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等		
事業目的	伝統文化団体が、小・中・高校の授業において行う伝統文化の体験事業の実施を支援することによって、伝統文化の若年層への浸透を図る。						
事業概要	伝統文化団体（いけばな、茶道等）を対象に、小・中・高校に講師を派遣し複数回の体験教室を行う際の経費の一部を補助する。						
これまでの改善状況	H28 分野追加（琴、日本舞踊、能・狂言）						
業務フロー	 <pre> graph TD A[県] -- ①希望調査 --> B[学校] A -- ④補助 --> C[文化団体] C -- ②講師派遣 --> B B -- ③体験教室実施 --> D[] </pre>						
事業に要するコスト	区 分		2 年度決算額	3 年度決算額	4 年度当初予算額	5 年度当初予算額	
	事業費①		7,828 千円	10,194 千円	8,400 千円	8,400 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		委託料	0 千円	1,265 千円	0 千円	0 千円	
		補助金・交付金	7,828 千円	8,929 千円	8,400 千円	8,400 千円	
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(7,828千円)	(10,194千円)	(8,400千円)	(8,400千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		11,200 千円	11,120 千円	8,400 千円	8,400 千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		69.9%	91.7%	100.0%	100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	
			2,489 千円	2,468 千円	2,586 千円	2,586 千円	
職員給与費	a	2,156 千円	2,131 千円	2,253 千円	2,249 千円		
賞与引当金繰入額	b	174 千円	172 千円	174 千円	172 千円		
退職手当引当金繰入額	c	159 千円	165 千円	159 千円	165 千円		
総コスト (①+③)		10,317 千円	12,662 千円	10,986 千円	10,986 千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 【～R3】体験教室開催回数	目標	200	175	50%	50%
実績（見込）			142	159	(50.0%)	(50.0%)	
（単位当たりコスト）			(73 千円)	(80 千円)	(21,971 千円)	(21,971 千円)	
達成率（見込）			71.0%	90.9%	(100.0%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 体験教室実施校数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI））	目標	80	70	60	60	80
		実績（見込）	63	69	(61)	(60)	
		（単位当たりコスト）	(164 千円)	(184 千円)	(180 千円)	(183 千円)	
		達成率（見込）	78.8%	98.6%	(101.7%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無（ ）					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	R4年度は応募校が予定を大幅に上回っており（約1.7倍）、実施校数の目標値を達成する見込みである。事業実施後の学校アンケート（R3）でも「引き続き実施したい」との回答が100%であり、非常にニーズが高い。		学校では伝統文化を指導するための資材（琴など）や人材が乏しく、本事業が児童・生徒にとって伝統文化を実際に体験しながら学ぶ貴重な機会となっており、学校からも評価が高い。			
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	各学校への周知は教育委員会を通じて行うなど、関係機関の協力を得て効率的な事業実施ができています。					
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明： 学校や文化団体の意見等を踏まえ必要に応じて事業の改善を図りながら、今後も引き続き若年層への伝統文化の浸透を図る。						
評価							

事務事業評価調書

事業名	舞台芸術鑑賞機会創出事業				部(局)	県民生活部
					所管課	芸術文化課
					担当班	事業調整班
					連絡先	078-362-3171
開始年度	令和4年度	終了年度	令和6年度	関連計画等	芸術文化振興ビジョン	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会
事業目的	青少年に身近な場所で舞台芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、県内アーティストに発表の機会を提供し活動の活性化を図る。					
事業概要	文化ホール等の設置者、公演を主催する実行委員会を対象に、県内アーティストが出演する有料公演で、座席の一定数を学生向けに無料開放する公演にかかる経費の一部を補助する。					
これまでの改善状況	なし。(R4年度より事業開始のため)					
業務フロー	<pre> graph TD A[事業者] -- 申請 --> B[芸術文化協会] C[県] -- 補助 --> B B -- 審査・交付決定 --> A </pre>					
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額
	事業費①		0千円	0千円	20,000千円	20,000千円
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	0千円	0千円	20,000千円	20,000千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(20,000千円)	(20,000千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円	0千円	20,000千円	20,000千円
	執行率 ((①/②) × 100)		—	—	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.0人	従事人員 0.0人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人
			0千円	0千円	862千円	862千円
職員給与費 a	0千円	0千円	751千円	750千円		
賞与引当金繰入額 b	0千円	0千円	58千円	57千円		
退職手当引当金繰入額 c	0千円	0千円	53千円	55千円		
総コスト (①+③)		0千円	0千円	20,862千円	20,862千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	—	—	8,000	14,400
鑑賞者数		実績（見込）	—	—	(8,000)	(14,400)	【令和6年度】
		(単位当たりコスト)	—	—	(3千円)	(1千円)	/
		達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標②）	目標	—	—	40	40
「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」		実績（見込）	—	—	39.0	40.0	/
		(単位当たりコスト)	—	—	(535千円)	(522千円)	
		達成率（見込）	—	—	(97.5%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標③）	目標	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	/
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標①）	目標	—	—	40	40	40
公演実施数	実績（見込）	—	—	(32)	(40)	【令和6年度】	
	(単位当たりコスト)	—	—	(652千円)	(522千円)	/	
	達成率（見込）	—	—	(80.0%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
	実績（見込）	—	—	—	—	/	
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
	達成率（見込）	—	—	—	—		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
	実績（見込）	—	—	—	—	/	
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
	達成率（見込）	—	—	—	—		
	終期設定	有（ ） ・ 無					
改善基準							
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	クラシック音楽や伝統芸能、演劇など幅広いジャンルを支援しており、青少年が無料で気軽に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供している。		令和4年度から開始した事業であり、まだ実績は確定していない。今後は、補助対象者や鑑賞者の意見等を踏まえながら必要に応じて改善を行っていく。			
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	必要書類のダウンロードや申請書のメール提出など、手続きのオンライン化による業務改善に取り組んでいる。また、補助率は1/2(上限額あり)としており、事業者にも応分の負担を求めている。					
課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
	説明	事業者、鑑賞者等の意見を踏まえながら事業の改善を図り、県内アーティストの活動支援や青少年が本物の芸術文化に親しむ機会の確保に努める。					
評価							

事務事業評価調書

事業名	ひょうごプレミアム芸術デーの開催				部(局)	県民生活部				
					所管課	芸術文化課				
					担当班	企画運営班				
					連絡先	078-362-3146				
開始年度	令和4年度	終了年度	令和7年度	関連計画等	芸術文化振興ビジョン					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県・(公財)兵庫県芸術文化協会				
事業目的	県民が芸術文化に親しみ、より身近に感じられる機会を提供し、兵庫の魅力の再発見やふるさと意識に根ざした兵庫の文化の継承・発展を図り、芸術文化立県ひょうごの実現を目指す。									
事業概要	・芸術文化施設の無料開放、無料イベントの実施									
これまでの改善状況	—									
業務フロー	事業の広報（予算：知事部局と教委で1：1） ↓ 対象施設の無料開放、無料イベントを実施 ↓ 有料施設の無料化に伴う損失補填									
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額		3年度決算額		4年度当初予算額		5年度当初予算額	
	事業費①		0千円		0千円		5,400千円		8,495千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		5,000千円		6,821千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	0千円		0千円		400千円		1,674千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(8,495千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(5,400千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円		0千円		5,400千円		8,495千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		—		—		100.0%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.0人	従事人員	0.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			0千円		0千円		8,619千円		8,619千円	
職員給与費	a	0千円		0千円		7,510千円		7,496千円		
賞与引当金繰入額	b	0千円		0千円		580千円		572千円		
退職手当引当金繰入額	c	0千円		0千円		529千円		551千円		
総コスト (①+③)		0千円		0千円		14,019千円		17,114千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 住んでる市・町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合	目標	—	—	50%	50%
実績（見込）			—	—	—	—	
（単位当たりコスト）			—	—	—	—	
達成率（見込）			—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 各施設入館者数（芸術文化センター、兵庫陶芸美術館、横尾忠則現代美術館、尼崎青少年創造劇場）	目標	—	—	603,000	603,000	603,000
		実績（見込）	—	—	(494,232)	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	(0千円)	—	
		達成率（見込）	—	—	(82.0%)	—	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	○有（第3期芸術文化振興ビジョンの終期）					無
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	・ 令和4年度は初年度であり、県立の9施設において実施 ・ 多くの方が参加しており、県民のニーズを踏まえた事業である ・ 県立施設については適切な予算を措置している		県民が芸術文化に親しみ、より身近に感じられる機会となっている 県民が芸術文化に触れる機会が増加することにより、兵庫の魅力の再発見や、若者への兵庫の文化の継承・発展にも繋がっている			
課題・今後の方向性	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	・ 各施設において、施設における専門人材を活用しながら事業を実施している。					
	課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 ・ 実施県立施設を増やすほか、市町施設や民間施設にも協力を依頼する。 ・ 文化の裾野をより広げるため、子ども向けのイベントを増やす。						

事務事業評価調書

事業名	兵庫ひきこもり相談支援センターの運営				部(局)	県民生活部	
					所管課	男女青少年課	
					担当班	青少年育成班	
					連絡先	078-362-3143	
開始年度	平成26年度	終了年度	—		関連計画等		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県青少年本部、NPO等	
事業目的	ひきこもり対策を推進するための体制を整備するため、第一次相談窓口としての役割を担う「センター」を設置し、ひきこもり本人や家族等を支援することにより、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図る。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療、福祉、教育、雇用等32機関で構成する「ひょうごユースケアネット推進会議（兵庫ひきこもり相談支援センター連絡協議会）」のネットワークを生かし、青少年を中心とするひきこもり当事者や家族への支援に努めている。 ・青少年のための総合相談として電話相談、来所相談、訪問支援を実施している。 						
これまでの改善状況							
業務フロー	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療、福祉、教育、雇用等32機関で構成する「ひょうごユースケアネット推進会議（兵庫ひきこもり相談支援センター連絡協議会）」のネットワークを生かし、兵庫県青少年本部を中心に運営。 ・電話相談は、（公財）兵庫県青少年本部、面接相談や訪問支援は、NPO等民間支援団体の協力を得て、県内5地域で展開。 						
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
	事業費①		17,701千円	15,621千円	14,124千円	11,497千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	17,701千円	15,621千円	14,124千円	11,497千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(8,850千円)	(7,810千円)	(6,819千円)	(5,748千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(8,851千円)	(7,811千円)	(6,820千円)	(5,749千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		17,701千円	15,621千円	13,639千円	11,497千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		100.0%	100.0%	103.6%	100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	
			8,297千円	8,225千円	8,619千円	8,619千円	
職員給与費 a	7,188千円	7,102千円	7,510千円	7,496千円			
賞与引当金繰入額 b	580千円	572千円	580千円	572千円			
退職手当引当金繰入額 c	529千円	551千円	529千円	551千円			
総コスト (①+③)		25,998千円	23,846千円	22,743千円	20,116千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） ほっとらいん相談窓口の周知（電話相談の新規件数）	目標	120	120	72	72
実績（見込）			136	166	(103)	(72)	
(単位当たりコスト)			(191 千円)	(144 千円)	(221 千円)	(279 千円)	
達成率（見込）			113.3%	138.3%	(143.1%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） ほっとらいん相談件数	目標	1,250	1,250	750	750	750件
		実績（見込）	1,089	1,027	(675)	(750)	
		(単位当たりコスト)	(24 千円)	(23 千円)	(34 千円)	(27 千円)	
		達成率（見込）	87.1%	82.2%	(90.0%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②） 来所相談件数	目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500件
		実績（見込）	2,337	1,718	(2,020)	(1,500)	
		(単位当たりコスト)	(11 千円)	(14 千円)	(11 千円)	(13 千円)	
		達成率（見込）	155.8%	114.5%	(134.7%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価					目標に対する達成状況（総合的評価）
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	・ 第一次相談窓口として、拠点を設置することで、ひきこもり当事者や家族への支援、県内の様々な支援窓口や居場所等の情報提供を行うことができる。					・ コロナ禍で、来所・訪問相談が難しい時期もあったが、そのときは電話相談件数が増加するなど、様々な相談ツールを設けることで、相談業務を安定的に行っている。
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	令和4年度から、ほっとらいん相談を週5日から週3日に実施回数を減らした。					・ 令和3年度のほっとらいん相談（1,027件）のうち、86.3%と高い割合でワンストップ相談とすることができた。 ・ 令和4年度からほっとらいん相談実施日を週3回に減らしたが、事前に周知を徹底したため、苦情等なくスムーズに移行することができた。
	課題・今後の方向性						
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
	説明	県内に推計約5.1万人の方がひきこもり状態にあるとされており、相談業務につながっていない潜在的なひきこもり者を相談窓口へ誘導し支援につなげるため、広く一般にひきこもり相談について周知を図り、気軽に相談できる支援体制を構築していく。					

事務事業評価調書

事業名	女性の就業サポート事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	男女青少年課				
					担当班	男女共同参画班				
					連絡先	078-362-3160				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	関連計画等						
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等					
事業目的	出産や育児等による離職や就労不安などに悩む女性を対象に、再就業や起業を支援する。									
事業概要	県立男女共同参画センターの「女性就業相談室」において、女性の再就職や起業、在宅ワークなどへのチャレンジに関する個別相談、各種セミナーの開催、ハローワークと連携した職業紹介等の実施									
これまでの改善状況										
業務フロー	相談(県民) → 受付(県) → 職業紹介(県、ハローワーク)									
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額		3年度決算額		4年度当初予算額		5年度当初予算額	
	事業費①		18,759千円		19,615千円		18,614千円		19,148千円	
	経費内訳	報酬・賃金	7,843千円		8,583千円		8,583千円		8,822千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	10,916千円		11,032千円		10,031千円		10,326千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(18,759千円)		(19,615千円)		(18,614千円)		(19,148千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		18,759千円		19,615千円		18,614千円		19,148千円	
	執行率((①/②)×100)		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人
			1,659千円		1,645千円		1,724千円		1,724千円	
職員給与費	a	1,438千円		1,420千円		1,502千円		1,499千円		
賞与引当金繰入額	b	116千円		114千円		116千円		114千円		
退職手当引当金繰入額	c	106千円		110千円		106千円		110千円		
総コスト(①+③)		20,418千円		21,260千円		20,338千円		20,872千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 女性就業相談室の支援による就職者数	目標	200	200	200	200
実績（見込）			241	235	(200)	(200)	【令和6年度】
（単位当たりコスト）			(85千円)	(90千円)	(102千円)	(104千円)	
達成率（見込）			120.5%	117.5%	(100.0%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	—
		達成率（見込）	—	—	—	—	—
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	—
		達成率（見込）	—	—	—	—	—
指標	活動指標（アウトプット指標①） 女性就業相談室利用者数	目標	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績（見込）	14,294	9,631	(11,000)	(11,000)	【令和6年度】
		（単位当たりコスト）	(1千円)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	
		達成率（見込）	129.9%	87.6%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	—
		達成率（見込）	—	—	—	—	—
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	—
		達成率（見込）	—	—	—	—	—
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など 	<p>女性就業支援員・保育支援員の配置やベビーカーを横に求人検索や職業相談が受けられる広いスペースにキッズコーナーが隣接、授乳室や絵本コーナーもあり、子育て中の女性が利用しやすい環境が整備されている。</p>	<p>女性就業相談室内において、相談・情報提供から各種セミナーの開催、職業紹介までワンストップで支援する窓口として機能しており、通常は子ども連れではハローワークへ来所しづらい女性からも、安心して利用できると好評を得ている。女性の就業率については引き続き課題と認識し、現プランにおいても目標として設定していることから、目標達成に向けて取り組んでいく。</p>				
<p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など 	<p>女性就業相談室に女性就業支援員・保育支援員の配置に加え、ハローワーク相談窓口を併設し、相談・情報提供から、各種セミナーの開催、職業紹介までワンストップで切れ目のない効率的な事業実施が実現できている。</p>						
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他	<p>女性の就業率は引き続きの課題であるとの認識のもと、現プランにおいても目標を設定し達成に向けて取り組んでいく。</p>					
評価							

事務事業評価調書

事業名	ひょうご女性の活躍推進事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	男女青少年課				
					担当班	男女共同参画班				
					連絡先	078-362-3160				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	関連計画等	第4次兵庫県男女共同参画計画「ひょうご男女いきいきプラン2025」					
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等					
事業目的	県における「女性の活躍」を一層促進するため、社会全体の気運の醸成を図るとともに、職場における意識改革や女性の登用促進、働きやすい職場環境整備等の企業の取組を推進する。また、女性がその希望に応じて仕事と家庭とを両立でき、個性と能力を十分に発揮できる社会の実現と女性の兵庫への定着を目指す。									
事業概要	県立男女共同参画センター内に設置した女性活躍推進センター（H28.6～）を中心に、企業の自主的取組の促進やキャリアアップを目指す女性の支援、次世代を担う女性学生への啓発等を行う。また、令和4年度からは「は「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度」を創設し、企業が自己診断により、現状を数値化・見える化し、一定基準に達した企業を認定することで、企業の女性活躍推進に向けた取組を後押しする。									
これまでの改善状況										
業務フロー										
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額		3年度決算額		4年度当初予算額		5年度当初予算額	
	事業費①		8,954千円		26,470千円		22,095千円		37,192千円	
	経費内訳	報酬・賃金	4,542千円		4,628千円		10,881千円		12,691千円	
		委託料	400千円		258千円		610千円		719千円	
		補助金・交付金	610千円		223千円		1,200千円		1,500千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	3,402千円		21,361千円		9,404千円		22,282千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(4,172千円)		(16,156千円)		(10,298千円)		(16,515千円)	
		(特定)	(610千円)		(223千円)		(1,500千円)		(1,500千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(4,172千円)		(10,091千円)		(10,297千円)		(19,177千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		21,513千円		26,132千円		22,095千円		37,192千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		41.6%		101.3%		100.0%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,489千円		2,468千円		2,586千円		2,586千円	
職員給与費	a	2,156千円		2,131千円		2,253千円		2,249千円		
賞与引当金繰入額	b	174千円		172千円		174千円		172千円		
退職手当引当金繰入額	c	159千円		165千円		159千円		165千円		
総コスト (①+③)		11,443千円		28,938千円		24,681千円		39,778千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	—	—	20	25
民間における女性管理職比率 （ひょうご男女いきいきプラン2025 （計画期間R3～R7））		実績（見込）	—	—	(20)	(25)	【令和7年度】
		（単位当たりコスト）	—	—	(1,234千円)	(1,591千円)	
		達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
	（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
	達成率（見込）	—	—	—	—		
	（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
指標	活動指標（アウトプット指標①）	目標	—	—	—	50	50
	女性活躍企業認定数	実績（見込）	—	—	—	(50)	【単年度】
		（単位当たりコスト）	—	—	—	(796千円)	
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
（単位当たりコスト）		—	—	—	—		
達成率（見込）		—	—	—	—		
（単位当たりコスト）		—	—	—	—		
目標	終期設定	有（ ） ・ 無（○）					
	改善基準						
自己	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		「女性活躍推進センター」を中心に、女性活躍推進専門員が、企業への個別訪問や課題解決のためのトップ層の意識改革や女性社員のモチベーション向上のための研修を実施するなど、総合的な支援や女性活躍の底上げにつなげている。		新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、女性社員向けセミナーや大学生キャリアデザイン支援事業など実施が困難なものもあったが、実施方法を模索し、リモート等の活用等の工夫により実施することができた。また、県内企業の女性活躍をさらし加速化するため、新たに認定制度を創設するなど、県内企業における女性活躍の取組を後押ししている。		
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		経済、労働、報道、行政等各種団体と連携し一体的に事業実施することにより、事業を効率的・効果的に実施し、女性の活躍に関し広く企業や県民に対する啓発を推進している。				
	課題・今後の方向性						
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
	説明 <p>【課題】若者の県外への転出超過、特に女性の就業率や県外転出が課題であることを踏まえ、女性が働きやすい環境整備を進めるため、関係団体との連携・協働をさらに進め、県内企業の取組を後押しすること、また、若年層の女性に対しキャリアデザインの意識形成を支援することにより、将来の女性活躍の担い手として育成することが必要である。</p> <p>【今後の方向性】引き続き、経済・労働団体との連携し、女性活躍推進のため効果的な事業展開を実施していく。</p>						

事務事業評価調査

事業名	人権文化県民運動推進補助				部(局)	県民生活部				
					所管課	総務課				
					担当班	人権推進班				
					連絡先	078-362-9135				
開始年度	平成25年度	終了年度	令和4年度	関連計画等	兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県内市町				
事業目的	本県が展開する「人権文化を進める県民運動」の趣旨を踏まえ、多様な人権課題解決に向けて市町が実施している、地域に密着したきめ細かい啓発事業、あるいは先駆的・モデル的な事業を支援し、県民運動の一層の推進を図る。									
事業概要	県民の人権意識の高揚を図るため、市町が実施する人権啓発事業のうち、「一般事業」として①県民運動の推進強調事業として実施する啓発冊子・教材等の作成経費、公報・イベント等の経費 ②地域住民を対象とした学習会等の開催経費について補助を行うとともに、「特別事業」として①インターネットモニタリングなど優先的に取組むべき事業 ②多様な地域団体との連携・共同事業の実施経費等について補助を行う。(補助率1/3)									
これまでの改善状況	S54～「同和問題啓発事業費補助」同和对策特別措置法の延長を契機に、従来の物的事業から啓発事業を展開するため市町に対する補助制度として創設(補助率1/2、上限1,000千円) H9～「人権啓発事業費補助」人権同和对策のみでなく、あらゆる差別の解消を図ることを目的に補助対象を拡充(補助率1/2、上限1,500千円) H20～人権啓発事業の定着等に伴い、補助率を1/3に変更(上限833千円(H23～766千円)) H25～先駆的・モデル的事业の普及を促進するため、「一般事業」と「特別事業」の補助枠を設定(上限730千円)									
業務フロー	交付申請(市町)→受付・審査・交付決定(県)→事業実施(市町)→実績報告(市町)→実績確認・確定(県)									
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額		3年度決算額		4年度当初予算額		5年度当初予算額	
	事業費①		15,886千円		16,768千円		19,260千円		0千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	15,886千円		16,768千円		19,260千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	0千円		0千円		0千円		0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(740千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(15,886千円)		(20,000千円)		(19,260千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		20,000千円		20,000千円		19,260千円		0千円	
	執行率((①/②)×100)		79.4%		83.8%		100.0%		-	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.0人
			2,489千円		2,468千円		2,586千円		0千円	
職員給与費	a	2,156千円		2,131千円		2,253千円		0千円		
賞与引当金繰入額	b	174千円		172千円		174千円		0千円		
退職手当引当金繰入額	c	159千円		165千円		159千円		0千円		
総コスト(①+③)		18,375千円		19,236千円		21,846千円		0千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 年齢、性別、障害の有無などに関わりなく、暮らしやすい環境が整っていると思う人の割合（兵庫のゆたかさ指標） ※R3まで不当な差別がない社会だと思ふ人の割合	目標	40%	40%	40%	—	—
実績（見込）			28.4%	28.1%	37.7%	—		
（単位当たりコスト）			(64,701千円)	(68,454千円)	(57,946千円)	—		
達成率（見込）			71.0%	70.3%	(94.3%)	—		
成果指標（アウトカム指標②） インターネット・モニタリング事業実施市町数		目標	41市町	41市町	41市町	—	—	
		実績（見込）	28市町	35市町	37市町	—		
		（単位当たりコスト）	(656千円)	(550千円)	(590千円)	—		
		達成率（見込）	68.3%	85.4%	(90.2%)	—		
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
指	活動指標（アウトプット指標①） 当該補助申請市町数	目標	41市町	41市町	41市町	—	—	
		実績（見込）	41市町	41市町	41市町	—		
		（単位当たりコスト）	(448千円)	(469千円)	(533千円)	—		
		達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	—		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
標	終期設定	有（令和4年度）					無	
	改善基準	成果指標の目標年次の達成率100%						
自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		・ インターネットによる人権侵害やコロナ差別など、多様化する人権課題への対応は、県民ニーズは高いと考えられ、県と市町が連携して人権施策を推進する上で本事業は有効性が高い。 ・ 中立・公平な事業展開が求められるとともに、収益性の見込めない事業であり、基本的に民間の参入は望めない。		・ 兵庫のゆたかさ指標の数値は、直近では緩やかに低下したものの、長期的には概ね上昇しており、事業は有効である。 (H19：17.7%→H24：21.8%→H29：28.4%→R1：28.4%→R2：29.7%→R3：23.3%)			
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など		・ 申請書の審査を行い、費用対効果の低いと考えられる事業は対象外としている。 ・ 事務処理の大部分について、福祉部総務課補助金・統計班（旧情報事務センター）において、ICTを最大限に活用した効率的な事務処理を実施している。					
	課題・今後の方向性 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
評価	説明 上記のとおり事業の有効性は認められるものの、社会情勢の変化により、インターネット上の誹謗中傷やLGBT偏見等に対応するために、令和5年度より「人権擁護推進等事業費補助」として事業再編。							

事務事業評価調書

事業名	人権擁護推進等事業費補助				部(局)	県民生活部	
					所管課	総務課	
					担当班	人権推進班	
					連絡先	078-362-9135	
開始年度	令和5年度	終了年度	令和9年度	関連計画等	兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県内市町	
事業目的	本県では、「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨を踏まえ、人権啓発施策の全県的な展開を図るべく支援を継続してきたところであるが、社会情勢の変化により、インターネット上の誹謗中傷やLGBTへの偏見等、人権問題が多様化・複雑化している。人権侵害の抑止に向けた取組みを強化するとともに、被害者を救済へとつなぐ先駆的・モデル的な事業を支援し、人権擁護の推進を図る。						
事業概要	市町が実施する人権施策のうち、「啓発支援事業」として講演会等の開催経費、啓発冊子等の作成・購入・配布経費について補助を行うとともに、「擁護推進事業」として①人権侵害抑止事業(事前登録型本人通知制度の普及・維持に係る経費、インターネット・モニタリング事業実施に係る経費)、②人権侵害被害者支援事業(インターネット上の誹謗中傷等に関する専門相談窓口の開設・実施に係る経費、インターネット人権侵害被害者の削除手続協力支援に係る経費)について補助を行う。(補助率1/3)						
これまでの改善状況	S54～「同和問題啓発事業費補助」同和对策特別措置法の延長を契機に、従来の物的事業から啓発事業を展開するため市町に対する補助制度として創設(補助率1/2、上限1,000千円) H9～「人権啓発事業費補助」人権同和对策のみでなく、あらゆる差別の解消を図ることを目的に補助対象を拡充(補助率1/2、上限1,500千円) H20～人権啓発事業の定着等に伴い、補助率を1/3に変更(上限833千円(H23～766千円)) H25～先駆的・モデル的事业の普及を促進するため、「一般事業」と「特別事業」の補助枠を設定(上限730千円)						
業務フロー	交付申請(市町)→受付・審査・交付決定(県)→事業実施(市町)→実績報告(市町)→実績確認・確定(県)						
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
	事業費①		0千円	0千円	0千円	19,380千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	19,380千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(19,380千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円	0千円	0千円	19,380千円	
	執行率((①/②)×100)		—	—	—	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	従事人員	従事人員	従事人員	0.3人
			0千円	0千円	0千円	2,586千円	
職員給与費 a		0千円	0千円	0千円	2,249千円		
賞与引当金繰入額 b		0千円	0千円	0千円	172千円		
退職手当引当金繰入額 c		0千円	0千円	0千円	165千円		
総コスト(①+③)		0千円	0千円	0千円	21,966千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 年齢、性別、障害の有無などに関わりなく、暮らしやすい環境が整っていると思う人の割合（兵庫のゆたかさ指標） ※R3まで不当な差別がない社会だと思ふ人の割合	目標	—	—	—	40%
実績（見込）			—	—	—	38.0%	
（単位当たりコスト）			—	—	—	(57,804千円)	
達成率（見込）			—	—	—	(95.0%)	
成果指標（アウトカム指標②） インターネット・モニタリング事業実施市町数		目標	—	—	—	41市町	41市町 【令和9年度】
		実績（見込）	—	—	—	38市町	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	(578千円)	
		達成率（見込）	—	—	—	(92.7%)	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指	活動指標（アウトプット指標①） 当該補助申請市町数	目標	—	—	—	41市町	41市町 【令和9年度】
		実績（見込）	—	—	—	41市町	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	(536千円)	
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
標	終期設定	有（令和9年度）					無
	改善基準	成果指標の目標年次の達成率100%					
自	評価の視点		評価			目標に対する達成状況（総合的評価）	
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		・ インターネットによる人権侵害やコロナ差別など、多様化する人権課題への対応は、県民ニーズは高いと考えられ、県と市町が連携して人権施策を推進する上で本事業は有効性が高い。 ・ 中立・公平な事業展開が求められるとともに、収益性の見込めない事業であり、基本的に民間の参入は望めない。				
己		○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など			・ 申請書の審査を行い、費用対効果の低いと考えられる事業は対象外としている。 ・ 事務処理の大部分について、福祉部総務課補助金・統計班（旧情報事務センター）において、ICTを最大限に活用した効率的な事務処理を実施している。		
評	課題・今後の方向性						
	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 説明 県と市町が連携した効果的な人権推進事業を実施するうえで、当補助金はその充実に大きな役割を果たしており、継続が必要である。今後はインターネット上の誹謗中傷など人権課題の多様化への対応や、人権侵害を救済につなぐ事業にも活用範囲を拡大するなど、補助のあり方を検討していく。						
価							

事務事業評価調書

事業名	人権擁護サポート事業				部(局)	県民生活部
					所管課	総務課
					担当班	人権推進班
					連絡先	078-362-3229
開始年度	令和5年度	終了年度	令和7年度	関連計画等	兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県人権啓発協会
事業目的	<p>人権侵害については、現在、(公財)兵庫県人権啓発協会が相談に対応し、必要に応じて神戸地方法務局や兵庫労働局、法テラスなど関係機関の相談窓口を案内している。</p> <p>近年、インターネット上の誹謗中傷やLGBT等への偏見・差別など人権問題の多様化に伴い、法的手続に関する専門的な相談や被害者の気持ちに寄り添える相談員など新しい相談手法が求められるとともに、相談を実際の救済に繋げることが求められているため、以下の取組みにより、人権擁護・救済の充実強化を図る。</p>					
事業概要	<p>①ネット上の誹謗中傷等に関する弁護士による専門相談を実施するほか、書き込みの削除や発信者情報の開示等の法的手続きを支援するネット被害者サポートチームを設置する。</p> <p>②LGBT等性的少数者の悩みに寄り添えるよう、支援団体による専門相談を実施するほか、当事者が自由に集まり交流することにより、問題解決に繋げることを支援するための交流会を開催する。</p>					
これまでの改善状況	令和4年度開始事業					
業務フロー	兵庫県人権啓発協会へ委託して実施					

区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	0千円	0千円	2,007千円	5,586千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	2,007千円	5,586千円
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(2,007千円)	(5,586千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円	0千円	2,007千円	5,586千円
	執行率 ((①/②) × 100)		—	—	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	0.0人	0.0人	1.0人	1.0人
			0千円	0千円	8,619千円	8,619千円
職員給与費 a		0千円	0千円	7,510千円	7,496千円	
賞与引当金繰入額 b		0千円	0千円	580千円	572千円	
退職手当引当金繰入額 c		0千円	0千円	529千円	551千円	
総コスト (①+③)		0千円	0千円	10,626千円	14,205千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	—	—	181	172
県人権啓発協会におけるインターネットに関する人権侵害相談件数（毎年▲5%）		実績（見込）	—	—	(181)	(172)	【令和7年度】
		（単位当たりコスト）	—	—	(59 千円)	(39 千円)	
		達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—
成果指標（アウトカム指標③）		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	—
		達成率（見込）	—	—	—	—	—
		活動指標（アウトプット指標①）	目 標	—	—	70%	70%
専門相談解決率		実績（見込）	—	—	79%	70%	【令和7年度】
		（単位当たりコスト）	—	—	(17,981 千円)	(20,293 千円)	
		達成率（見込）	—	—	(112.9%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—	—
活動指標（アウトプット指標③）	実績（見込）	—	—	—	—	—	
	（単位当たりコスト）	—	—	—	—	—	
	達成率（見込）	—	—	—	—	—	
	終期設定	有（令和7年度） ・ 無					
改善基準	成果指標の目標年次の達成率85%						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	・ インターネットによる人権侵害、性的少数者の人権擁護は社会的課題である。 ・ 弁護士事務所等民間事業者による相談・救済事業はあるものの、費用が高額でハードルが高い。		・ 令和4年度実施事業については、現在目標を上回っており事業は有効である。			
課題・今後の方向性	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	・ 兵庫県弁護士会やLGBT当事者団体の協力により、最小限での費用で実施している。					
	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 説明： 事業見直しによる相談のフルタイム化やサポートチームの運営、LGBT相談会の実施により、利用の増を図るとともに、人権擁護・救済の拡大につなげていく。						

事務事業評価調査書

事業名	犯罪被害者等支援推進事業				部(局)	県民生活部
					所管課	生活安全課
					担当班	地域安全対策班
					連絡先	078-362-3173
開始年度	令和5年度	終了年度	—	関連計画等	犯罪被害者等の権利利益の保護等を図るための施策の推進に関する条例（令和5年4月施行予定）	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公社)ひょうご被害者支援センター等
事業目的	犯罪被害者等の権利利益の保護等を図るための施策の推進に関する条例（令和5年4月施行予定）に基づき、犯罪被害者等が必要とする情報や支援が適切に提供されるよう、総合的な支援窓口を設置するとともに、犯罪被害者等支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、犯罪被害者等支援に関する計画を策定する。					
事業概要	①犯罪被害者等総合サポートセンター（仮称）の設置 委託先：公益社団法人ひょうご被害者支援センター 事業内容：専用電話相談、警察・県・市町や民間団体の支援メニューの紹介、警察・市町・医療機関等への同行支援、法律相談・心理相談、市町職員研修 等 ②犯罪被害者等支援計画の策定等（直執行） 事業内容：犯罪被害者等支援計画の策定に向けた検討委員会の開催、犯罪被害者等支援の理解促進に向けた県民等への啓発					
これまでの改善状況	—					
業務フロー	①県とひょうご被害者支援センターとの委託契約 ②直執行					
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額
	事業費①		0千円	0千円	0千円	10,349千円
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	462千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	9,472千円
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	415千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(10,349千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円	0千円	0千円	10,349千円
	執行率 ((①/②) × 100)		--	--	--	100.0%
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	従事人員	従事人員	従事人員
			0千円	0千円	0千円	8,619千円
職員給与費 a		0千円	0千円	0千円	7,496千円	
賞与引当金繰入額 b		0千円	0千円	0千円	572千円	
退職手当引当金繰入額 c		0千円	0千円	0千円	551千円	
総コスト (①+③)		0千円	0千円	0千円	18,968千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 犯罪被害者等相談支援件数	目標	—	—	—	370	—
実績（見込）			—	—	—	370		
（単位当たりコスト）			—	—	—	(51 千円)		
達成率（見込）			—	—	—	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
指標	活動指標（アウトプット指標①） 相談員配置数	目標	—	—	—	2	—	
		実績（見込）	—	—	—	(2)		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	(9,484 千円)		
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②） デジタル広告実施回数	目標	—	—	—	420	—	
		実績（見込）	—	—	—	(420)		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	(45 千円)		
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
目標	終期設定	有（ ） ・ 無 ()						
	改善基準	R6年度以降の相談支援件数が350件を下回る状況が続く場合に事業内容の見直しを検討						
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		犯罪被害者等の権利利益が守られ、犯罪被害者等が孤立することなく、誰もが安全に安心して暮らすことのできる地域社会の実現に資する事業である。		—			
己		○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など		相談員は必要最低限の人数（2名）を配置し、効率的な運営に努める。		—		
評価	課題・今後の方向性							
	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 説明 { 犯罪被害者等総合サポートセンター（仮称）の運用等を通じて、犯罪被害者等が置かれている状況や実態を把握しながら、支援方策を検討する。 }							
評価								

事務事業評価調書

事業名	子どもの冒険ひろばの推進				部(局)	県民生活部	
					所管課	男女青少年課	
					担当班	青少年育成班	
					連絡先	078-362-3143	
開始年度	平成15年度	終了年度	—	関連計画等			
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県青少年本部	
事業目的	①運営団体の財政基盤が脆弱であることに加えて、地域の子育て支援機能の強化を図るため、市町との連携を推進し、協働で体験する機会を増やすなど、ひろばを通じて子どもたちの「ふるさと意識」の確立に取り組む。 ②課題を抱える青少年の居場所としての機能強化を図る。						
事業概要	地域ぐるみの子育てを推進するため、身近な地域の大人が見守る中、子どもたちが自由な発想でのびのびと遊ぶ「子どもの冒険ひろば」の運営を支援						
これまでの改善状況	令和4年度に補助上限額を1団体あたり400千円から300千円に見直し 令和5年度に補助団体数を40団体から30団体に見直し 団体がひろばを継続する場合、助成金や協賛金の獲得等を促し、自立運営できる体制の構築を推進						
業務フロー	(公財)兵庫県青少年本部への補助 (1)兵庫県青少年本部による助成 実施団体の公募→「子どもの冒険ひろば」補助事業実施団体審査会により選定→採択 (2)子ども・若者ひろば相談員の設置 個々の運営団体に応じた相談対応、活動に対する指導・助言機能の充実・強化を図るとともに、全県ネットワークの形成に向けたひろば間の連絡・調整等を実施						
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
	事業費①		21,603千円	27,449千円	20,368千円	12,057千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	20,635千円	26,349千円	19,500千円	9,460千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	968千円	1,100千円	868千円	2,597千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(21,603千円)	(27,449千円)	(20,368千円)	(12,057千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		21,603千円	27,449千円	20,368千円	12,057千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.6人	従事人員 0.6人	従事人員 0.6人	従事人員 0.5人	
			4,978千円	4,935千円	5,171千円	4,310千円	
職員給与費 a		4,313千円	4,261千円	4,506千円	3,748千円		
賞与引当金繰入額 b		348千円	343千円	348千円	286千円		
退職手当引当金繰入額 c		317千円	331千円	317千円	276千円		
総コスト (①+③)		26,581千円	32,384千円	25,539千円	16,367千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000人
「子どもの冒険ひろば」の利用者数		実績（見込）	44,577	34,815	(25,661)	(25,661)		
		(単位当たりコスト)	(1千円)	(1千円)	(1千円)	(1千円)		
		達成率（見込）	96.9%	75.7%	(55.8%)	(55.8%)		
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—		—
「子どもの冒険ひろば」の開設箇所数		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
		成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—	
「子どもの冒険ひろば」の開設箇所数（累計）		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	650	650	650	650	650箇所	
指	「子どもの冒険ひろば」の開設箇所数（累計）	実績（見込）	659	678	(680)	(680)		
		(単位当たりコスト)	(40千円)	(48千円)	(38千円)	(24千円)		
		達成率（見込）	101.4%	104.3%	(104.6%)	(104.6%)		
		活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—		—
	活動指標（アウトプット指標③）	実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
		目標設定	(有) (令和6年度) ・ 無					
	改善基準							
	自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
		○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		参加者が身近な自然に興味を持ち、自ら新しい遊びを見つけるなど自発的に行動するようになった等、参加した子どもたちに成長が見られ有効的に実施ができています。		・ 目標として掲げていた累計開設箇所数、利用者数はコロナ禍でも概ね達成できており、需要の高さがみられる。		
	己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など		参加した親子が地域活動へ参加したり、地元のこども園・小学校と連携し自然体験学習や障がい者の利用として幅広い年代が活用することで、子どもの冒険ひろばを通して、地域の活性化にも取り組んでおり、効率的な実施に努められている。		・ また、スマートフォン・SNSの低年齢層への普及等により、青少年の交流・体験活動の機会が減少している中、子どもが自由な発想でのびのびと遊べる場の重要性は一層高まっている		
課題・今後の方向性 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 説明 事業創設後15年以上が経過し、「活力あるふるさと兵庫実現プログラム」で目標として掲げた650箇所（全県累計）を超えるひろばを展開してきた。今後は、ひろばの自立的な運営を目指し、県としての支援の在り方を見直す。								
評価								